

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 4 区分

【発行日】平成 29 年 9 月 7 日 (2017.9.7)

【公開番号】特開 2016-43607 (P2016-43607A)

【公開日】平成 28 年 4 月 4 日 (2016.4.4)

【年通号数】公開・登録公報 2016-020

【出願番号】特願 2014-170353 (P2014-170353)

【国際特許分類】

B 4 1 J 2/175 (2006.01)

【F I】

B 4 1 J 2/175 1 1 9

B 4 1 J 2/175 1 5 1

【手続補正書】

【提出日】平成 29 年 7 月 25 日 (2017.7.25)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

液体収納容器を所定の方向に沿って開口部から取り外し可能に装着する装着部と、
前記液体収納容器と嵌合することにより、装着された前記液体収納容器を前記装着部に
係止するロック部材と、
を備え、

前記装着部は、前記液体収納容器を装着する際の前記所定の方向に対する前記液体収納
容器の姿勢の傾斜を規制する規制部を備えることを特徴とする液体収納容器の保持部材。

【請求項 2】

前記規制部は、前記装着部の内面とこれに対向する前記液体収納容器の外面との隙間が、
挿入方向に関して部分的に狭くなるように設けられた部分であることを特徴とする請求
項 1 に記載の保持部材。

【請求項 3】

前記規制部は、前記所定の方向に関して、前記装着部の開口部の開口面よりも、前記装
着部の奥側に位置付けられていることを特徴とする請求項 1 または 2 に記載の保持部材。

【請求項 4】

前記規制部は、前記所定の方向に関して、前記装着部の開口部よりも前記装着部の奥側
に最大突出高さ部分を部分的に有する突起として設けられていることを特徴とする請求
項 1 ～ 3 のいずれか 1 項に記載の保持部材。

【請求項 5】

前記規制部は、前記所定の方向に関して、前記装着部の開口部よりも前記装着部の奥側
に最大突出高さ部分が延在する突起として設けられていることを特徴とする請求項 1 ～ 3
のいずれか 1 項に記載の保持部材。

【請求項 6】

前記規制部は、前記最大突出高さ部分に至るまで、前記開口部側から挿入方向に向かっ
て高さが次第に高くなるスロープ状に形成されていることを特徴とする請求項 4 または 5
に記載の保持部材。

【請求項 7】

前記規制部は、前記所定の方向と交差する方向に関して、1 つ設けられていることを特

徴とする請求項 1 ～ 6 のいずれか 1 項に記載の保持部材。

【請求項 8】

前記規制部は、前記所定方向と交差する方向に関して、複数設けられていることを特徴とする請求項 1 ～ 6 のいずれか 1 項に記載の保持部材。

【請求項 9】

請求項 1 ～ 8 のいずれか 1 項に記載の保持部材を、前記保持部材に装着された前記液体収納容器と流体連通可能に装着するプリントヘッド。

【請求項 10】

請求項 9 に記載のプリントヘッドを用いてプリントを行うことを特徴とするプリンタ。